

郡山市図書館だより

Koriyama City Library Letter



2023.秋 特別増刊号

《郡山市中央図書館 第6回レクチャーコンサート・レポート》

伊藤 制子

1981年開館の現在の郡山市中央図書館は、最高裁判所の設計などで知られる岡田新一氏による歴史ある建物で、長らく市民に親しまれてきました。名誉館長をつとめる東京藝術大学名誉教授・船山隆氏の発案で、2017年よりレクチャーコンサートが行われており、第6回「こども・お母さん・音楽」は7月29日に開催。0歳から来場できる画期的な企画でした。

～子供、音楽、図書館～

さて郡山市中央図書館は、以前から幼児や赤ちゃん連れでもゆっくり楽しめるように様々な工夫を凝らしてきました。改装時に鍵付き授乳室をつくるなど先進的です。子供の本のコーナーは天井がとても高く、日差しがよく差し込む空間で、表紙が見えるように置いてある本も多く、目当ての本を探しやすくなっています。図書館では多くの紙芝居、紙芝居の舞台も所蔵しており、紙芝居の舞台は、レクチャーコンサートでも活用されました。



図書館には、音楽書とは独立して楽譜コーナーがあり、楽都・郡山らしく、楽譜が必要な人たちにとっても便利です。絶版のディスクを含む数多くのクラシック音楽の音源を聞けるナクソミュージックライブラリーを導入しており、手続きをすれば、自宅でもオンラインで聞くことができます。

～コンサート当日 前半のレクチャー～

さて、コンサート前日には入念なりハーサルも行われ、準備も万端。7月29日当日の14時30分の開場から、多くの親子が詰めかけました。0歳から来場可能なので、初めて託児室も設営。ホール入り口には、今回の催しの関連の書籍が展示され、図書館らしい工夫が見られました。船山名誉館長の挨拶で開演。続いて今川恭子・聖心女子大教授による講演「赤ちゃんの心を育む 歌いかけ 語りかけ」です。子供にとって音楽はとても大切なことを、豊富な文献や最新の研究などを交えてのお話です。赤ちゃん言葉も発育にはとても大事であること、お母さんの声が胎児にどう聞こえているかの実験なども紹介されました。





続いて、長野麻子・東京成徳大学教授による講演「赤ちゃんの絵本を音楽～まんまんぱつ！」は、絵本や紙芝居の実演もある楽しいお話でした。長野教授の母上は絵本作家の長野ヒデ子氏で、親子共作の絵本の紹介、さらには図書館所蔵の紙芝居の舞台を用い、紙芝居「ころころじゃぱーん」の実演もあり、愛らしい絵とリズムの楽しさを体験しました。

～後半の2つのコンサート～

さて後半は、まずトイピアノを使った須藤英子氏によるコンサート「おもちゃピアノの楽しい世界」です。日本製、海外製のトイピアノを使いわけ、小道具も用いた演奏に会場が沸きました。《トルコマーチ》《パッヘルベルのカノン》に続き、ケージの《ドリーム》は通常のピアノとトイピアノを一緒に弾くという試みでした。グリスワルドの《Bicycle



Lee Hooker》では笛、自転車のベルなども加わり、多彩な楽器を吹き、鳴らしながらの演奏でした。深見麻悠子の《オリエンタルランド》では、水を入れたお茶碗も登場しました。この日は岩手大学准教授をつとめる作曲家の大場陽子氏の新作《シンクロニシティ》も披露され、母子の対話をトイピアノで表現する素敵な作品を聞きました。

続いてフランスのストラスブル音楽院教授をつとめ、国内外で活躍中の小林真理氏、ピアニストの吉田真梨氏を迎えて、コンサート「お母さんと子どものための歌」が行われました。



フランスのロザンタールの《ムッシューブルーの歌》、ポーランドのルトスワフスキの《騎士》《教会の鐘》など、世界の多彩な歌が披露されました。会場の大人も子供も一緒に童謡《サッチャン》《おなかのへるうた》などを歌う企画もあり、楽しいひとときでした。

当日は、郡山のビール祭が久しぶり開催され、駅前には賑わいを見せていました。レクチャーコンサートは、郡山の週末に華を添える催しになったのではないのでしょうか。

ユーチューブでの視聴はこちらから

→

<https://youtu.be/5gHo8aGy0VY?si=iTRKgUdVxF07gWtn>



【執筆者プロフィール】

伊藤制子 (いとうせいこ) : 東邦音大、日大ほか講師。日仏の近現代音楽を研究するほか、海外オペラ取材、音楽評論も行う。旅行が趣味で、芦ノ牧、土湯など福島の温泉も訪問。

《全国放送番組アーカイブ・ネットワークサービス開始》

公益財団法人放送番組センターが、保存している番組の一部を、国内唯一、横浜市の「放送番組ライブラリー」で無料公開していますが、横浜市に行かなくても、全国10か所程度の公共施設で視聴できるようにする事業を進め、郡山市はその最初の都市に選定され、令和5（2023）年9月1日（金曜日）から**全国初の視聴サービス**を開始しました。

文化庁芸術賞、放送文化基金賞、日本民間放送連盟賞など、各賞の受賞番組や「放送史が学べる」「地域振興や地域の課題」「全国の文化」「福島県」に関連した番組約120本（今後順次増加する予定）です。ご興味のある方は、無料で視聴できますので、ぜひ当館にて視聴ブースにてご覧ください。



※視聴できる場所：中央図書館 2階 視聴ブース（※視聴専用パソコン 2台）

※中央図書館の開館時間内にご利用ください。月曜日は休館です。

※利用は、原則として1人あたり1日1回で時間は60分以内、または1番組が60分以上の場合はその番組が終了するまで。加えて、次の順番待ちの方がいない場合、1回のみ延長できます。

サービス開始当日の様子

9月1日（金）のサービス開始当日には、品川萬里市長が中央図書館を視察に訪れ、実際に番組アーカイブネットによる番組視聴を体験しました。

品川市長は「子供たちに歴史の勉強もかねてよく見てもらいたい。映像を通じた学習の素晴らしい機会になる」と感想を述べられました。



- 「うつくしま百名山 額取山 笠ヶ森山 富士山 権太倉山 高旗山」
(放送局：福島テレビ 放送日：2000年7月17日(月) 時間：25分)

福島県内各地域を代表する山々を選定し、それらの美しい故郷ふくしまの名山を紹介していくシリーズ番組。

郡山市のある中通りと猪苗代湖の間にある奥羽山脈には千メートル前後の峰々が連なるが、その中のひとつである額取山は、別名「安積山」とも呼ばれ、古くは万葉集にも読まれた山である。

- 「うつくしま祭り50選 21世紀5選」
(放送局：福島テレビ 放送日：2004年2月2日(月) 時間：26分)

福島県内の数ある祭りの中から「うつくしま祭り50選」に選ばれた祭りを紹介するシリーズ。

郡山うねめまつり、いわきおどり、会津秋まつり、霊山太鼓まつり、蔵の町喜多方夏祭り、の五つの祭りを紹介する。

- 「ふくしまの素顔 宮本百合子 ～安積開拓を描いた作家～」
(放送局：福島中央テレビ 放送日：2005年10月30日(日) 時間：29分)

偉人、有名人、人知れず大事を成し遂げた人など、福島にゆかりのある人物の足跡をたどり、その人の人柄を描くシリーズ番組。

安積開拓の中心となって働いた人物、中条政恒を祖父にもつ宮本百合子。

小学生の頃から夏休みなどに祖父の家で過ごしていたが、東京で生まれた百合子にとって、本籍地でもある郡山市が真の故郷であったのかもしれない。番組ではその生涯を紹介する。

- 「ふくしまの素顔 郡山に電灯をともした男たち ～わが国初の長距離送電～」
(放送局：福島中央テレビ 放送日：2007年10月28日(日) 時間：29分)

偉人、有名人、人知れず大事を成し遂げた人など、福島にゆかりのある人物の足跡をたどり、その人の人柄を描くシリーズ番組。

明治初期、小さな宿場町にすぎなかった郡山は、安積疏水によって大きな発展を遂げた。

番組では、発電所を建設するのに情熱を傾けた地元郡山市の商人や工事に貢献した技師など、沼上発電所の建設に関わった人々を紹介しながら当時を振り返る。

*この他にも、福島県に関連した番組も視聴できます。

番組数は、今後、順次増やしていく予定ですので、ぜひ、中央図書館へお越しください。